

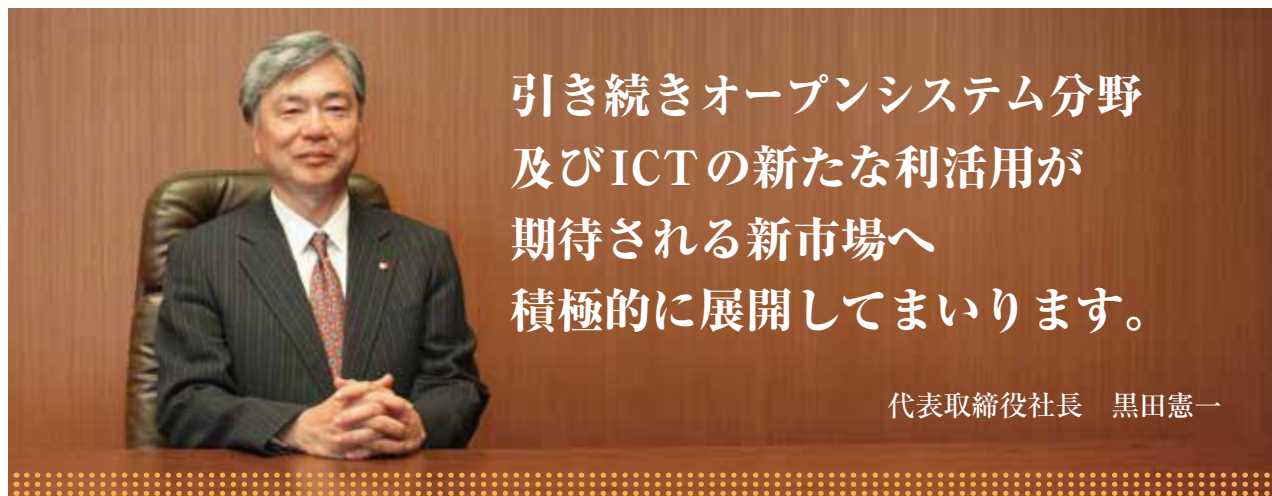
株式会社アルファシステムズ

第42期報告書

2013年4月1日から2014年3月31日まで



●株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げますとともに、平素よりのご支援並びにご愛顧に対し、深く御礼申し上げます。

第42期は、国内IT投資の緩やかな回復を背景に、5年ぶりの増収増益を達成いたしました。増収増益の主な要因は、オープンシステム分野への積極的シフトにより業務量を確保できたことと、期首に抱えていた2件の不採算案件を速やかに収束させることができ、また新たな不採算案件を発生させることなくコスト低減を図れたことにあります。オープンシステム事業の成長は著しく、「オープンシステム」事業区分の売上高は、6,332百万円（前年同期比19.3%増）となり、4年連続での二桁成長、4年前の2倍となりました。

第43期の事業環境は、第42期の流れがほぼ

継続するものと予測しております。情報通信業界では、通信事業者によるネットワーク設備の増強、運用・保守の効率化、新サービス創出等に向けたシステム投資のほか、企業のIT投資回復基調の継続に期待が持てる状況です。引き続き、オープンシステム分野へのシフトを進めるとともに、ICTの新たな活用が期待できる新市場へ積極的に展開し、2期連続での増収増益を目指してまいります。

第42期の配当につきましては、一株当たり40円（中間20円、期末20円）とさせていただきます。配当水準の更なる向上に向け、収益力を高めてまいります。株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

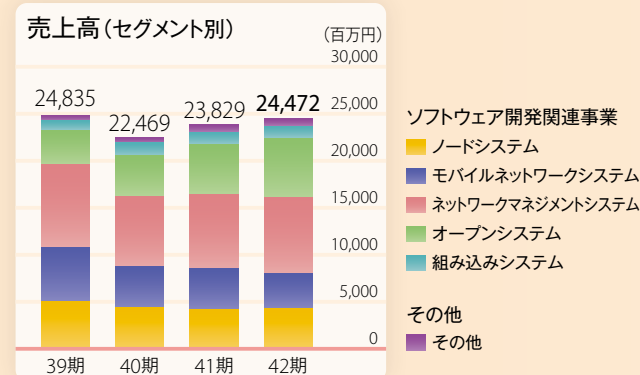
2014年6月

決算ハイライト

当期の事業環境と業績

当事業年度におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調となりました。世界経済が先進国を中心に回復しつつある中で、大規模な金融緩和、円高修正を背景にした輸出の増加、消費増税前の駆け込み需要等が景気回復を支えました。

情報通信業界では、スマートデバイスとクラウドサービスの一般消費者への普及が本格化したしました。これにより通信事業者では、トラフィック増加への対応やICT基盤の高度化に向

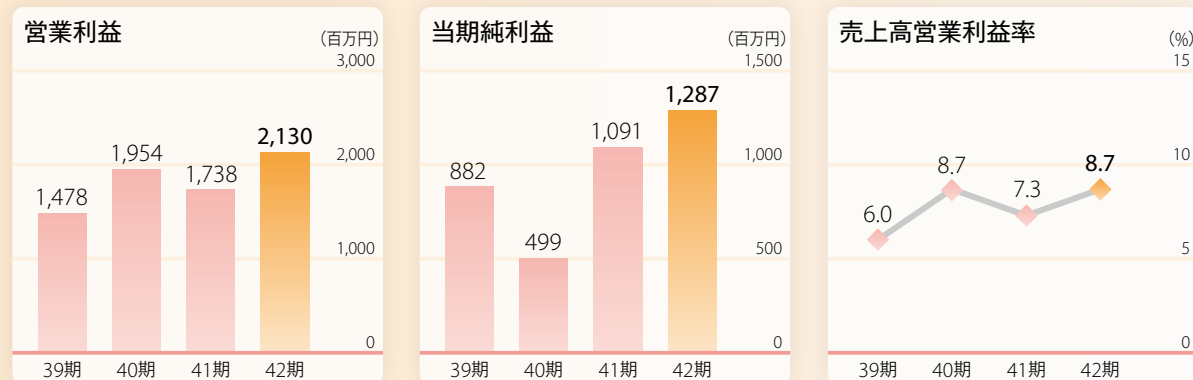


けた設備投資が進められました。また、最先端のICTが、スマートエネルギー、スマートモビリティ、ヘルスケア等様々な分野におけるイノベーションを促進しており、企業はこうした次世代サービスへのIT投資を拡大させつつあります。その一方で、国内の携帯端末開発市場は、海外製品のシェア拡大に押されて、急速に縮小いたしました。当事業年度においても、大手メーカーの携帯事業縮小、市場からの撤退が相次ぎました。更に、ソフトウェア開発事業における短納期化や低コスト化の要求は、引き続き強さを増しており、これら市場の変化にいか

対応していくかが課題となっております。

このような事業環境の中で、当社は、投資の拡大が顕在化しているオープンシステム分野へ積極的に展開し、受注拡大に努めてまいりました。また、リスクマネジメントの徹底を図り、不採算案件の速やかな収束と新規発生の抑止に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は24,472百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は2,130百万円（前年同期比22.6%増）、経常利益は2,230百万円（前年同期比21.5%増）、当期純利益は1,287百万円（前年同期比18.0%増）となりました。



事業概況

単位: 百万円

▶ ノードシステム

次世代ネットワーク（NGN）関連の売り上げは減少いたしました。伝送システム関連の売り上げが増加いたしました。

4,288
前年同期比
2.0%増

▶ モバイルネットワークシステム

第4世代移動体通信システム関連の売り上げは増加いたしました。携帯端末関連及び第3世代移動体通信システム関連の売り上げが減少いたしました。

3,683
前年同期比
14.6%減

▶ ネットワークマネジメントシステム

固定網インフラ関連の売り上げが増加いたしました。

8,115
前年同期比
2.4%増

▶ オープンシステム

製造業向けシステム関連及び官公庁向けシステム関連の売り上げが増加いたしました。

6,332
前年同期比
19.3%増

▶ 組み込みシステム

複合機関連及び車載システム関連の売り上げが減少いたしました。

1,265
前年同期比
3.1%減

▶ その他

フィールドサービス関連及びSI関連の売り上げが増加いたしました。

786
前年同期比
1.7%増

● 中長期的な経営方針

上質なサービスの提供により競争優位を確立し、持続的な成長と安定した収益基盤を実現します。

● 中期的に目指す方向

米国のジャーナリスト ケビン・メイニーは、その著「Trade-off」で、成功している企業の戦略は、「上質（Quality）」か「手軽（Convenience）」かのどちらかを追求していると言っています。多くの企業は、これといった特徴を持たずに「不毛地帯」でくすぶっている、また、両方を追うことができると考えるのは「幻想」であると説いています。

当社が目指す方向は、この「上質」方向であると考えています。

● 目指す上質とは？

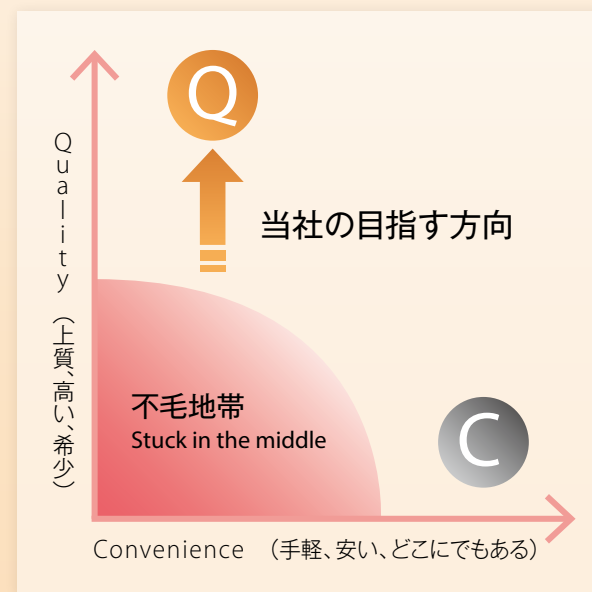
それでは、目指す「上質」とはどのようなものでしょうか。当社では、ソフトウェア開発における「上質」について、次のように考えています。

当社はこれまで、開発対象となるシステムの多くが非常に高い信頼性を求められる基幹系通信システムであったことから、開発におけるプライオリティの第一は「品質の確保」でした。

その後、「ソフトウェアは企業の競争力そのものである」という認識が世の中に広まるとともに、ソフトウェアはより複雑で大規模なものになっていきます。さらに、「早く」、「安く」が強く要請されるようになると、無理な計画による開発プロジェクトが増え、プロジェクトの失敗リスク（不採算化、完成

しない等）が飛躍的に高まりました。プロジェクトの失敗は、開発サイドに大きな損害をもたらすだけでなく、顧客の事業展開に甚大な影響を及ぼします。ソフトウェア開発の現場では、「問題プロジェクトを出さない」ことが大変重要なこととなりました。

そして現在、当社が考えるソフトウェア開発で最も重要なことは、「顧客の望むものを提供する」ことだと考えています。技術革新が日進月歩で、新しいサービスが矢継ぎ早に登場する現在、お客様自身が最終的な解を持って、システム開発を進めていることは稀です。お客様の知らないことや気づかないことに先回りして対応し、お客様にとって真に有益なシステムやサービスを、一緒になって考え、作り上げていく仕事求められています。



● ビジョン

このことを踏まえ、当社は以下のビジョンを掲げることにいたしました。

プロセス・イノベーションによる顧客価値の創出と競争優位の確立

《行動指針》

- 1 顧客第一主義を貫き、顧客のビジネスに貢献する
- 2 ソフトウェア生産技術でトップになる

品質を
確保する

問題
プロジェクト
を出さない

お客様の
望むものを
提供する

プロセス・
イノベーションによる
顧客価値の創出と
競争優位の確立

Quality

当社はこれまで、高い信頼性、豊富な経験、プロパーエンジニアの動員力といった、高いソフトウェア開発力により、新規顧客のほとんどにリピーターとなっただき、業務を好意的に継続、拡大していただける好循環が生まれ、事業を拡大してまいりました。

しかし、年々厳しさを増す他社との競争環境において、当社が常に選ばれ続ける企業であるためには、これらの「強み」に一層の磨きをかけると

もに、新たな「強み」を創出していく必要があります。

そのために当社は、顧客を第一と捉え、ソフトウェア生産技術で卓越性を追求し、上質なサービスの提供により、競争優位を確立、持続的な成長と安定した収益基盤を実現することで、皆様のご期待にこたえてまいります。

今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

● アルファシステムの製品ソリューション

Media Link Player for DTVシリーズにAndroid版が登場

昨年8月に発売したMedia Link Player for DTVはおかげ様で大変ご好評をいただいておりますが、この度iOS版に加えAndroid版を本年1月に発売いたしました。これまでどおりの快適な性能や、使いやすいシンプルな操作性はそのままに、より多くの方々にご利用いただけることと思います。

今後も使い勝手の向上につとめ、より多くの方々にテレビ番組をいつでもどこでも楽しめる豊かな生活をお届けします。

《Media Link Player for DTVの利用イメージ》



利用可能な スマートフォン/タブレットや レコーダー等の機器について

◎スマートフォン/タブレット (合計87機種)

Apple	: 13機種	富士通	: 13機種
京セラ	: 7機種	サムスン	: 10機種
シャープ	: 17機種	ソニー	: 12機種
その他	: 15機種		

◎レコーダー、TV等(合計86機種)

パナソニック: DIGAシリーズ	38機種
パナソニック: TV、STB等	19機種
スカパー！プレミアムサービス: DVR	1機種
ソニー: ブルーレイディスクレコーダー	17機種
ソニー: TV、nasne等	6機種
東芝: レクザサーバー	3機種
東芝: ブルーレイディスクレコーダー	2機種

機種数は2014年5月現在の数値です。
今後動作確認済み機器を順次追加しますので、詳しくは製品ホームページをご参照ください。

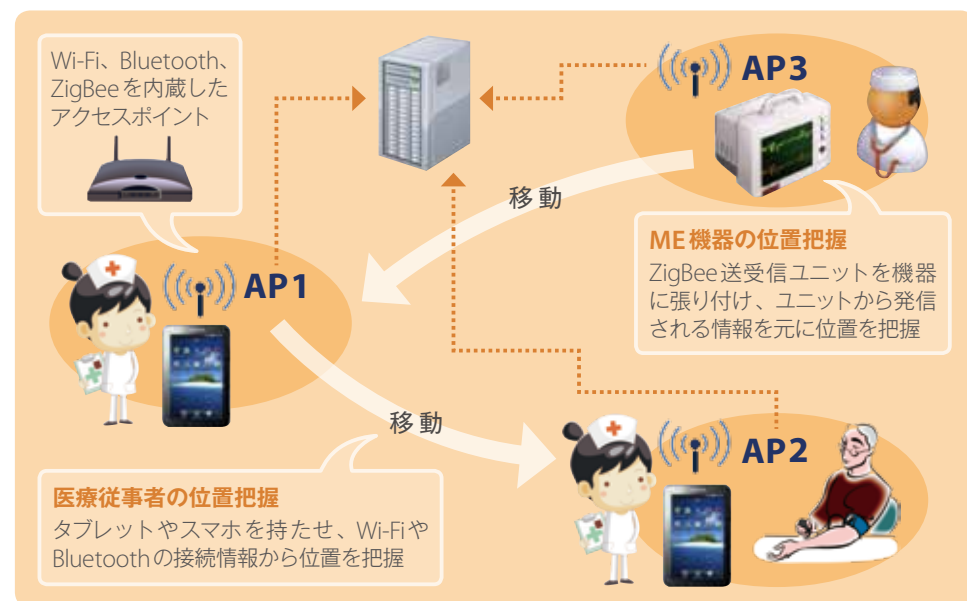
(iOS版)
<http://www.alpha.co.jp/biz/products/dlna/mlplayer/dtv.shtml>
(Android版)
http://www.alpha.co.jp/biz/products/dlna/mlplayer/dtv_android.shtml

記載した製品名、サービスは各社の各国における登録商標または商標です。本文中では®、TM等の表記を省略しています。

● アルファシステムのWi-Fiサービスへの取り組み

事業者向け業務支援システム

Wi-Fi、Bluetooth、ZigBeeを内蔵した専用のアクセスポイントを通して、業務支援サービスを提供します。Wi-Fiを通した通常のコンテンツサービス他、アクセスポイントへの接続情報から機器（スマートフォン、タブレット、ME機器など）の位置を把握することで、移動履歴、滞在履歴、利用状況等を把握し、業務効率化の支援を実施します。



利用イメージ

- 医療現場の作業効率化
 - 看護師、機器の院内位置情報の把握
 - スマホ、タブレットを使った内線会議システムの実現
- 観光スポットで情報配信

導入事例

- 大学病院 医療支援システム
 - 医療従事者の位置情報把握から業務改善
 - 機器の所在管理
 - 従業員向け作業アプリ
 - スマホ、タブレットを用いた内線電話（IP-PBX連携）

法人向けエリア限定コンテンツ配信サービス

デジタルコンテンツを格納した専用機材を電源コンセントに挿すだけで、手軽にその場所にWi-Fi環境を構築し、配信エリアを限定した電子図書館サービスやデジタルサイネージサービスを利用者に提供します。

利用者はWi-Fiに接続可能なブラウザ機能を搭載したデバイス（スマートフォンやタブレット等）から専用機材のアクセスポイントにアクセスしてブラウザを起動するだけで、簡単にコンテンツを楽しむことができます。

設置場所だけにデジタルコンテンツを配信するという特性を活かすことで、消費者がその店に来店するきっかけ作りや、待ち時間の有効活用、顧客満足度向上のためのツールとして、ご活用いただけます。

収録コンテンツイメージ

- コミック・動画・娯楽コンテンツ
- e-learningコンテンツ
- プロモーション広告コンテンツ
- 観光情報コンテンツ など

導入事例

- 手塚治虫マンガ電子図書館サービス「TEZUKA SPOT」



飲食店、図書館への来店者に手塚治虫のコミックや動画を配信
<http://mmaga.jp/wifi/>

- くら寿司様全店舗（約330店）に導入
- 丸善書店 丸の内本店 様 等

- デジタルサイネージサービス

汽船の乗客を対象に、観光情報を配信する乗り物向けサービス



（画像）くら寿司様ホームページより ©Tezuka Productions

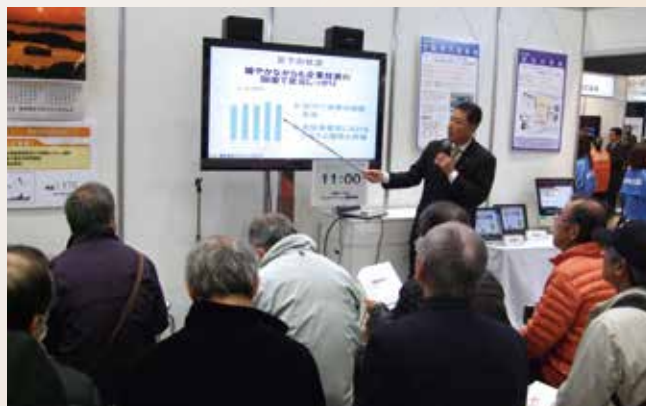


野村IR個人投資家フェア 2013への出展

当社は、昨年12月13日(金)、14日(土)の2日間、東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内)で開催された「野村IR個人投資家フェア2013」へ出展いたしました。

当社ブースでは、自社製品の展示や会社説明会を開催いたしました。約660名の個人投資家の方々に当社を知っていただき、また貴重なご意見をお聞かせいただくことができました。

今後も、このような「当社を知っていただく活動」をより積極的に進めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、ますますのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



野村IR 個人投資家フェア 2013

主催
野村インベスター・
リレーションズ(株)

共催
野村証券(株)

出展企業
上場企業54社、
投信運用会社8社

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話：0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.alpha.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

ご注意

- (1) 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社アルファシステムズ

〒211-0053 神奈川県川崎市中原区上小田中6丁目6番1号
中原テクノセンター1号館
電話：044-733-4111(代表) Fax：044-739-1100
<http://www.alpha.co.jp/>

